



第83期 第2四半期株主報告書

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで



西部電機株式会社

証券コード 6144



平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第83期第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）の決算が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

平成27年12月

取締役社長 宮地敬一郎
Keishiro Miyaji

「チャレンジ200」の達成に

Q 当第2四半期の決算のポイントについて教えてください。

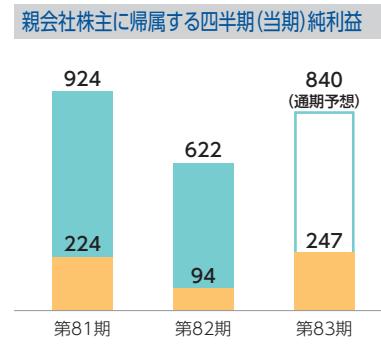
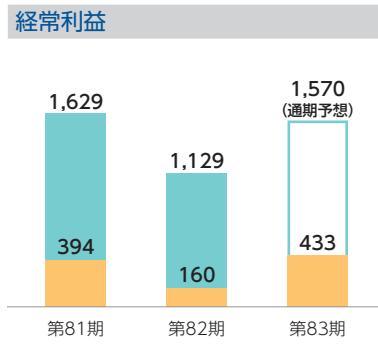
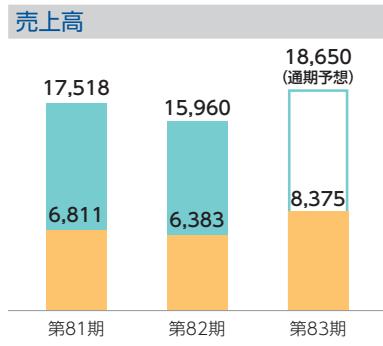
A 国内の設備投資の回復と円安効果により、増収増益となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や円安を背景に、国内での設備投資意欲の向上や輸出企業の業績改善がみられ、緩やかな景気回復基調を辿りました。しかしながら中国経済の減速による国内経済への影響や海外経済の下振れリスクなどの懸念材料を抱えており、先行き不透明な状況が続いております。

この様な情勢の中で、2015年度から2017年度までの新中期経営計画「チャレンジ200」を策定し、当社グループはどのような環境下にあっても、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜くべく、全社を挙げて努力してまいりました。

業績ハイライト・Financial Highlights

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 百万円・%)



向かって新市場に果敢に挑戦してまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、国内設備投資の回復や円安効果もあり、受注高は126億8千5百万円(前年同期比 59.2%増)となり、売上高は83億7千5百万円(前年同期比 31.2%増)となりました。また、損益においては、経常利益は4億3千3百万円(前年同期比 169.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億4千7百万円(前年同期比 163.3%増)となりました。

Q 下期へ向けての見通しはいかがですか？

A **コストダウンと経費削減に一層注力し、企業体質の強化に努めます。**

当社グループといたしましては、事業部を3事業部体制に戻し、三位一体となって相互に協力し合い、「チャレンジ200」の達成に向かって新市場に果敢に挑戦してまいります。

更には、コストダウンや経費の削減に一層注力し、企業体質の強化と着実な安定成長の確保に努めてまいります。

なお、通期の連結業績の見通しとしては、売上高186億5千万円(前期比 16.8%増)、経常利益15億7千万円(前期比 39.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益8億4千万円(前期比 35.0%増)を計画しております。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

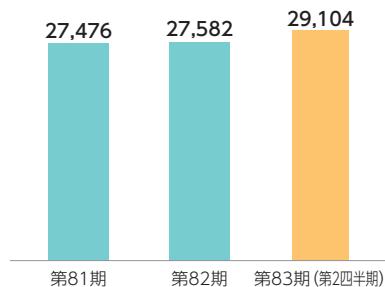
A **当第2四半期末の配当金は、6円とさせていただきます。**

当社は安定的な配当を継続して行うことを基本方針としており、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期の展望、財務状況等を考慮し、これに対応した配当を決定すべきと考えております。

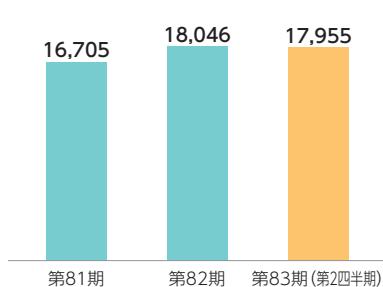
当第2四半期末の配当金は、1株当たり6.00円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

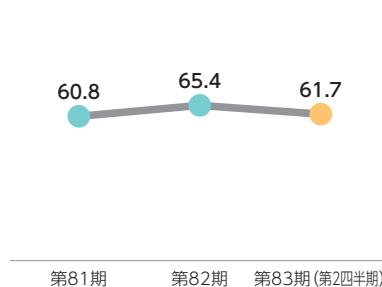
総資産



純資産

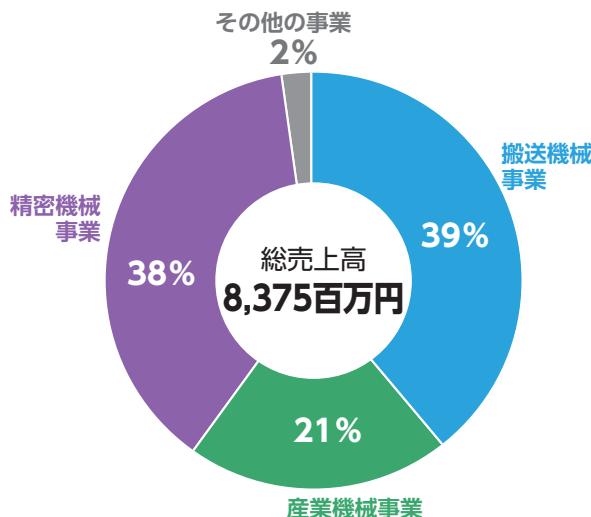


自己資本比率

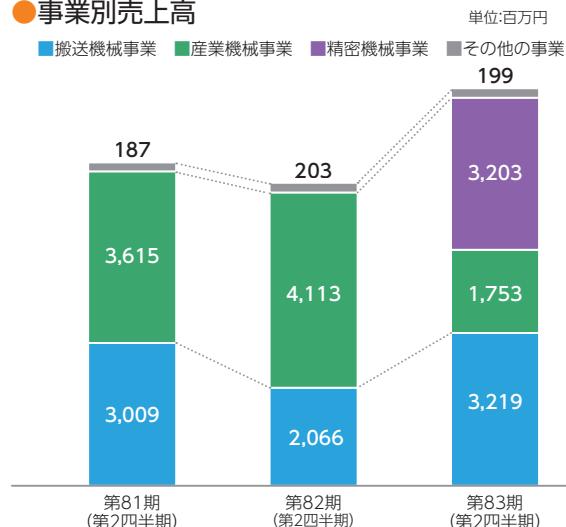


主要な事業別営業の概況 *Operating Overview*

● 事業別売上高構成比



● 事業別売上高



当社は平成27年4月1日付で、産業機械事業部精密機械部門を独立させ、精密機械事業部とする組織変更を行っております。

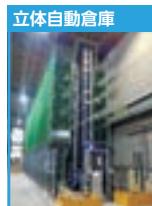
搬送機械事業

売上高 **3,219百万円** (前年同期比 55.8%増)

搬送機械事業では、既存顧客からのリピート受注、小型自動倉庫や製造業の生産・物流分野などに、ピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともにサービス・メンテナンスにも注力し、拡販を図ってまいりました。その結果、国内の設備投資の回復もあり、受注高は57億2千6百万円(前年同期比 106.3%増)、売上高は32億1千9百万円(前年同期比 55.8%増)となりました。

主要商品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- ピースピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム



TOPICS

蓋付きオリコン組立機の開発

搬送機械事業では、「蓋付き折り畳みコンテナ(オリコン)の組立自動化」に取り組み、化学メーカーにオリコン組立機を開発・納入いたしました。この商品は、組立能力900オリコン/Hを実現し、従来人手作業で行っていた組立作業の自動・高速化が可能となりました。また、蓋開け装置のサーボ化を行い、静音性も向上いたしました。

お客様からも高い評価をいただき、同社の他の物流センターへも納入予定です。

今後は多種オリコンに対応できるようパッケージ化を行い、市場への横展開を図ってまいります。



産業機械事業

売上高 **1,753**百万円 (前年同期比 1.4%増)

産業機械事業では、民間需要の掘り起こしやゲート分野を中心とした既存市場におけるシェアアップ、サービス・メンテナンスに注力してまいりました。その結果、受注高は23億8千7百万円(前年同期比 6.1%減)、売上高は17億5千3百万円(前年同期比 1.4%増)となりました。

主要商品

■ バルブアクチュエータ ■ ゲート駆動装置



TOPICS 高機能型陸閘駆動装置「HPM-H」の開発

産業機械事業では、東日本大震災以降、河川および水門の設計が見直されており、陸閘と呼ばれる水門(横方向にスライドし、有事には防波堤として機能)の需要が高まっています。当社は、電動操作のみを行う陸閘駆動装置「HPM」を平成25年に既に開発していましたが、その後、手動操作をはじめ、開度指示や開度発信機能を持つ駆動装置を求められたことにより、これらの機能を追加した高機能型陸閘駆動装置「HPM-H」を開発いたしました。既存商品であるラック式駆動装置「LEC」を基に、低コスト且つ短期間で開発し、受注に繋げることができました。



今後も市場の動向を捉え、迅速に開発していきます。

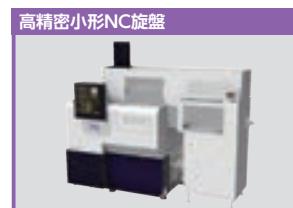
精密機械事業

売上高 **3,203**百万円 (前年同期比 34.3%増)

精密機械事業では、既存顧客の更新需要や海外市場の開拓に注力してまいりました。その結果、円安効果による輸出の増加や省エネ補助金などの効果もあり、受注高は43億7千3百万円(前年同期比 77.7%増)、売上高は32億3百万円(前年同期比 34.3%増)となりました。

主要商品

■ 超精密・高精度ワイヤ放電加工機 ■ 高精度小形NC旋盤
■ 超精密ワイヤ放電加工機(油仕様) ■ 正面旋盤



TOPICS ワイヤ放電加工機 受注台数倍増

精密機械事業では、円安や省エネ補助金追い風となり、国内外とも受注を順調に伸ばし、月間受注台数は昨年度に比べ倍増となりました。

特に海外においては、すでに納入しているスマートフォン製造の最大手FOXCONN(中国)に評価されたことにより、スマートフォン業界では当社製のワイヤ放電加工機、Mシリーズを使用することが必須要件とも言われるようになっていきます。さらに、世界第3位のLED製造会社、木林森(中国)からも採用いただき、またFOXCONNからはリピート受注もいただいています。

今後も市場情報収集を行い、受注獲得に邁進していきます。

● ワイヤ放電加工機受注台数



連結財務諸表(要約) ・ Financial Statements

単位:百万円(金額は単位未満を切り捨てております。)

■ 第2四半期連結貸借対照表

科 目	第83期第2四半期	第82期
	平成27年9月30日	平成27年3月31日
資産の部		
流動資産	16,472	15,277
固定資産	12,632	12,304
有形固定資産	8,906	8,656
無形固定資産	17	14
投資その他の資産	3,708	3,633
資産合計	29,104	27,582
負債の部		
流動負債	7,844	6,502
固定負債	3,305	3,033
負債合計	11,149	9,535
純資産の部		
株主資本	13,405	13,264
資本金	2,658	2,658
資本剰余金	2,616	2,616
利益剰余金	8,135	7,993
自己株式	△4	△4
その他の包括利益累計額	4,549	4,782
純資産合計	17,955	18,046
負債純資産合計	29,104	27,582

■ 第2四半期連結損益計算書

科 目	第83期第2四半期	第82期第2四半期
	平成27年4月1日から平成27年9月30日まで	平成26年4月1日から平成26年9月30日まで
売上高	8,375	6,383
売上原価	6,272	4,695
売上総利益	2,102	1,687
販売費及び一般管理費	1,697	1,536
営業利益	404	151
営業外収益	37	32
営業外費用	9	23
経常利益	433	160
特別利益	0	1
特別損失	0	0
税金等調整前四半期純利益	432	161
法人税、住民税及び事業税	148	9
法人税等還付税額	—	△3
法人税等調整額	36	61
四半期純利益	247	94
親会社株主に帰属する四半期純利益	247	94

■ 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第83期第2四半期	第82期第2四半期
	平成27年4月1日から平成27年9月30日まで	平成26年4月1日から平成26年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,987	1,126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△463	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△120	△164
現金及び現金同等物の増減額	2,403	917
現金及び現金同等物の期首残高	6,403	5,681
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,807	6,598

会社概要 ・ Corporate Profile

平成27年9月30日現在

■ 会社の概況

商号	西部電機株式会社
英訳名	Seibu Electric & Machinery Co., Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
設立	昭和14年2月1日
資本金	26億5,840万円
従業員数	418名(連結473名)

■ 役員

取締役会長(代表取締役)	吉住 一成
取締役社長(代表取締役)	宮地 敬四郎
専務取締役	藤岡 敬正
常務取締役	税所 幸一
取締役	中里 晋也
取締役	溝田 安彦
取締役	塩川 秀樹
取締役	佐藤 徳生
社外取締役	井上 信之
常勤監査役	大串 秀文
社外監査役	小西 正純
社外監査役	吉田 一昭

■ 事業所



■ 株式の状況

発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株主数	1,274名

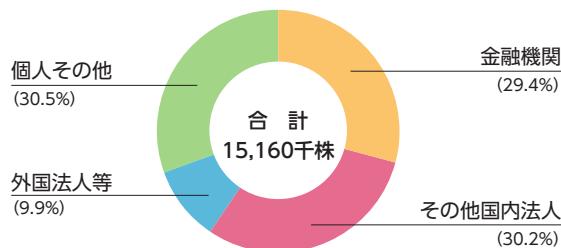
■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社安川電機	2,630	17.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,539	10.1
株式会社豊田自動織機	1,106	7.3
CGML PB CLIENT ACCOUNT / COLLATERAL	1,073	7.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	650	4.2
株式会社福岡銀行	633	4.1
みずほ信託銀行株式会社	626	4.1
株式会社西日本シティ銀行	589	3.8
西部電機従業員持株会	393	2.5
DEUTSCHE BANK AG LONDON-PB NON-TREATY CLIENTS 613	230	1.5

(注) 1. 持株比率は自己株式(9,883株)を控除して計算しております。

2. シンプルクス・アセット・マネジメント株式会社から平成27年8月18日付で提出された大量保有報告書の変更報告書により、平成27年8月11日現在同社が2,974,800株(保有割合19.62%)を保有している旨の報告を受けております。しかし、当社として当第2四半期会計期間末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

■ 所有者別株式分布状況



■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(http://www.seibudenki.co.jp/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。

ホームページのご案内

当社Webサイトでは、事業内容やIR情報などがご覧いただけます。



<http://www.seibudenki.co.jp/>

または、

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合【特別口座の株主様】
お問合せ先	お取引の証券会社等になります。 (ただし、支払明細発行については、右記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。)	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所、プラネットブース(株式会社みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金のお支払いについては、みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店にてお取扱いいたします。(みずほ証券株式会社では取次のみとなります。)	

【特別口座の株主様へご案内】

1.株式の売買について

「特別口座」では、単元株式の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。株券の電子化後に振替手続きを行っていない株主様は、上記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。

2.少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座で所有される場合、配当等を受取るには、証券会社等を通じて受取る「株式数比例配分方式」の手続きが必要となります。「特別口座」の株主様は「株式数比例配分方式」をご利用いただくことができませんので、別途手続きが必要となります。詳細は上記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。

表紙の絵は、本社玄関フロアに展示されている陶版画で、奥入瀬渓流の四季をモチーフに「自然随順」を表現しております。当社が「我々のロマン」として掲げるスローガン「我々は技術の本質を謙虚に探索し自然随順に即した応用で広く世界に貢献しよう」は、好不況にかかわらず、ロマンを胸に、機械文明と自然が共存し得るとの信念で謙虚さと誇りをもって商品をつくり、広く世界に貢献することを宣誓しています。

西部電機株式会社

●お問い合わせ先

〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号 TEL:092-941-1500(代表)



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。